

令和 8 年度 第 1 回 大牟田市地域公共交通活性化協議会

議案第4号 玉川校区自家用有償旅客運送の本運行について

<目次>

- 1. 玉川校区公共ライドシェアの実証実験について 1
- 2. 実証実験の効果・検証について 2
- 3. 実証実験後の取組について 5

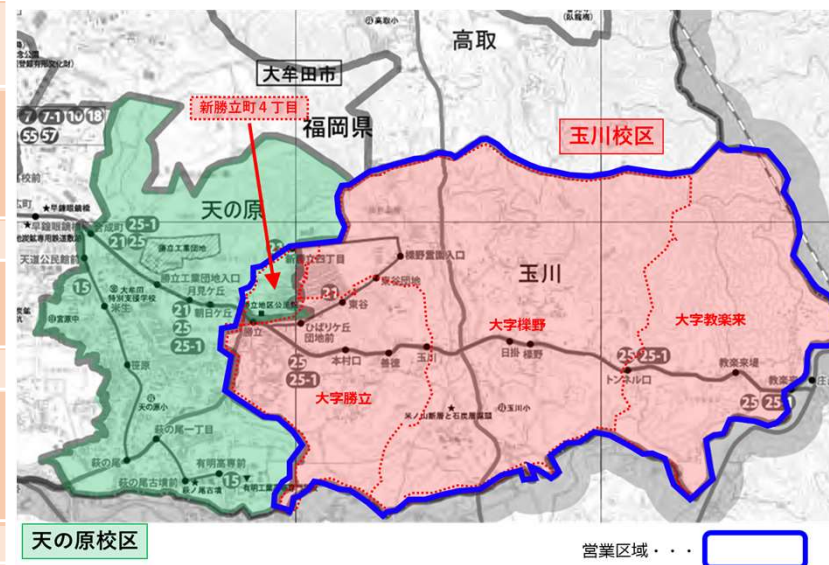
令和 8 年 6 月 2 9 日
大牟田市 国県道路・地域交通対策課

1. 玉川校区公共ライドシェアの実証実験について

- 玉川校区では、令和4年10月から「玉川のりあいタクシー」の本格運行を行っている。
しかし、タクシー事業者の運転手不足から、平日の午前と午後の1日2往復（5便）しか運行することができず、時間的な交通空白が生じている状況にある。
また、今後、さらなる運転手不足が予測されていることから、生活交通の確保が課題となっている。
- 現状を踏まえ、玉川のりあいタクシーに普通免許(一種)を所持しているドライバーが運転できる公共ライドシェア（事業者協力型）の仕組みを導入した実証運行を実施し、持続可能な生活交通の確保に向けて効果検証を行った。

項目	玉川校区公共ライドシェア実証実験の運行概要
運行主体	玉川校区まちづくり協議会
運行方式 (運送の区域)	定時ダイヤ型 区域運行方式（デマンド型）
運行方法	事業者協力型の体制により、交通事業者の予約センターを活用。 利用者からの電話予約（前日の16時まで）により受付、 運行経路選定・配車を実施。
運行期間	令和7年9月1日～令和8年1月31日
利用対象者 (旅客の範囲)	玉川校区の全域と天の原校区の一部（新勝立町4丁目）に お住いで事前に登録をされた方。利用者は、前日の16時まで予約をすること。
運行日	週6日（月～土曜日、日曜日は運休）運行
運行時間	月～土曜日は、1日3往復7回 （9・10・11・12・13・14・15時台に運行） ※ゆめタウン行を金・土曜日の13、15時台の1往復2回運行
乗降場所	自宅から指定された商業施設、病院
利用料 (対価)	・区域内 300円/人（小学生以下100円/人、未就学児無料） ・ゆめタウン行 700円 ※乗り合い（2名以上で利用）になった場合は、100円引き
運行車両	・リース車両1台
備考	・地域でドライバーを確保（一種免許所持者での運行が可能） ・事業者協力型の体制をとることにより、交通事業者により運行管理、 ドライバーの運行指導、車両整備管理等を実施。

運行区域



玉川校区まちづくり協議会において、国が募集する「交通空白」解消緊急対策事業に応募し、事業採択を受け実施。

事業費： 5,000千円

2. 実証実験の効果・検証について

○乗車人数、乗合率等について

	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	計
運行回数	41	32	36	50	45	40	50	41	53	48	35	27	498
乗車人数	57	45	48	67	60	48	66	50	73	60	46	41	661
乗合率	1.39	1.41	1.33	1.34	1.33	1.20	1.32	1.22	1.38	1.25	1.31	1.52	1.33

	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	計
運行回数	40	45	36	51	48	55	50	44	44	32	39	44	528
乗車人数	50	60	51	61	77	72	68	62	61	42	47	52	703
乗合率	1.25	1.33	1.42	1.20	1.60	1.31	1.36	1.41	1.39	1.31	1.21	1.18	1.33

← 実証実験期間 →

実証実験期間の利用状況を前年同月と比較すると、R6：運行回数232回、乗車人数297人、乗合率1.28
R7：運行回数225回、乗車人数305人、乗合率1.36

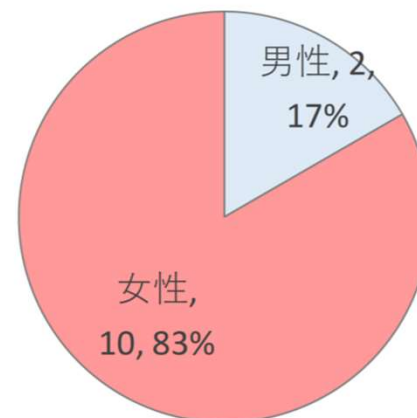
運行回数は減ったものの、乗車人数、乗合率は増加しており、より効率的な運行が図られた。

○利用者アンケートについて

アンケート対象者 玉川校区公共ライドシェアの利用者 12人
実施期間 2025年9月29日～10月18日
回答者数 12人（回答率：100%）
調査方法 乗車時に記入

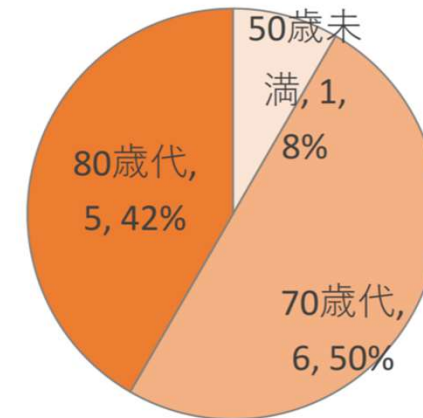
- 回答者の性別は女性が8割以上、年齢は70歳代（50%）と80歳代（42%）で9割以上となっている。

回答者の性別



n=12

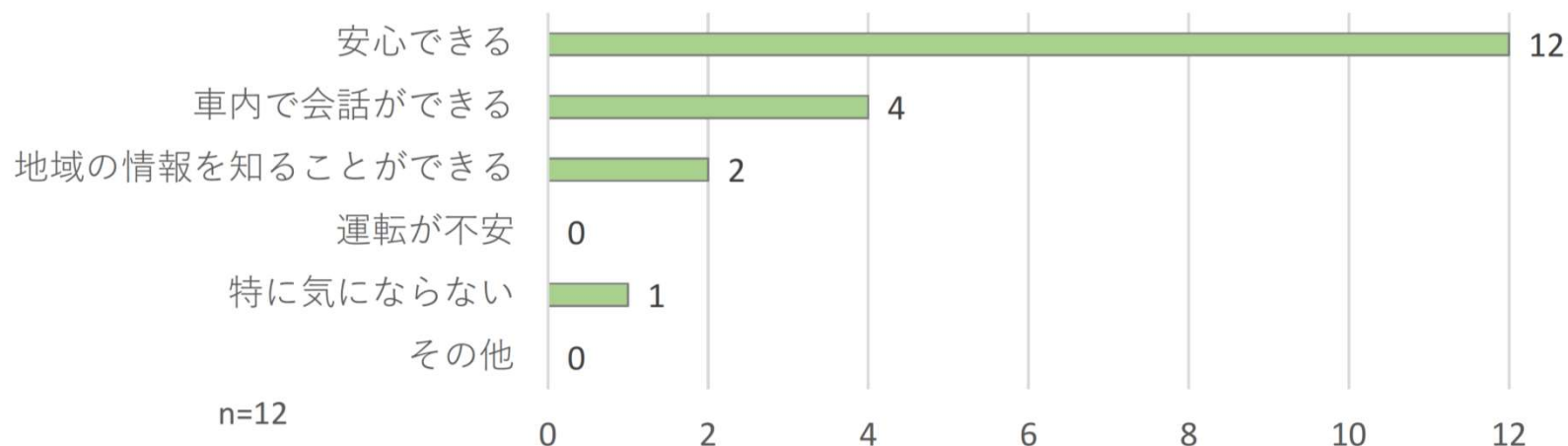
回答者の年齢



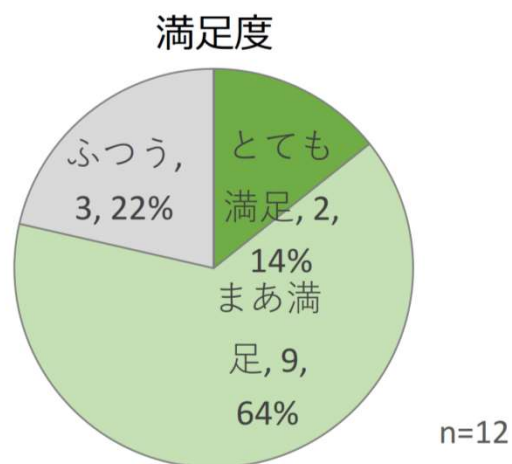
n=12

2. 実証実験の効果・検証について

地域住民が運転をしていることについて、**すべての回答者が「安心できる」と回答**。その他、「車内で会話ができる」が4人（33.3%）、「地域の情報を知ることができる」が2人（16.7%）となっており、**地域住民が運転することについて肯定的な利用者が多い**と考えられる。



利用者のうち約8割が満足（「とても満足」14%、「まあ満足」64%）と回答しており、**利用者の満足度は高い**。満足度の理由として、臨機応変な対応や運転手への高評価、料金が安いことなどが挙げられている。



満足度の理由

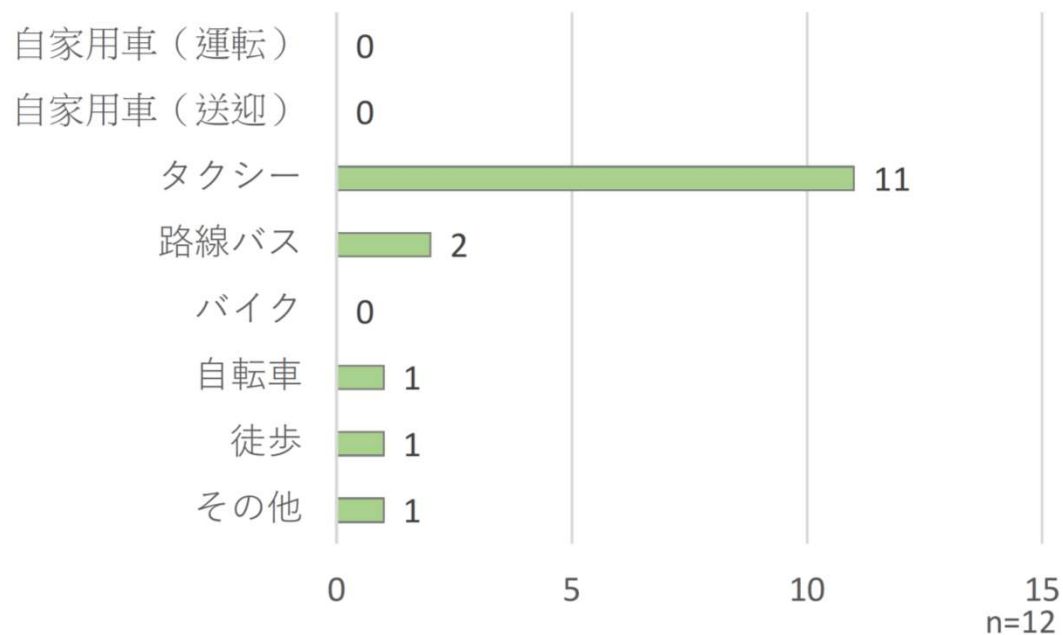
とても満足	足も悪く大変良好
とても満足, ふつう	急に送りの便をお願いし、とても助かりました。
まあ満足	とても親切で安心してのれる事ができる
まあ満足	運転手さんがていねい。安心して乗れる。
まあ満足, ふつう	タクシー運転手さんより話ができる
まあ満足	足がなく安い（料金）
まあ満足	不便で助かっています。（足がないから）
まあ満足	特に不満がない

2. 実証実験の効果・検証について

公共ライドシェア以外の移動手段はタクシーが11人（91.6%）、路線バスが2人（16.7%）。

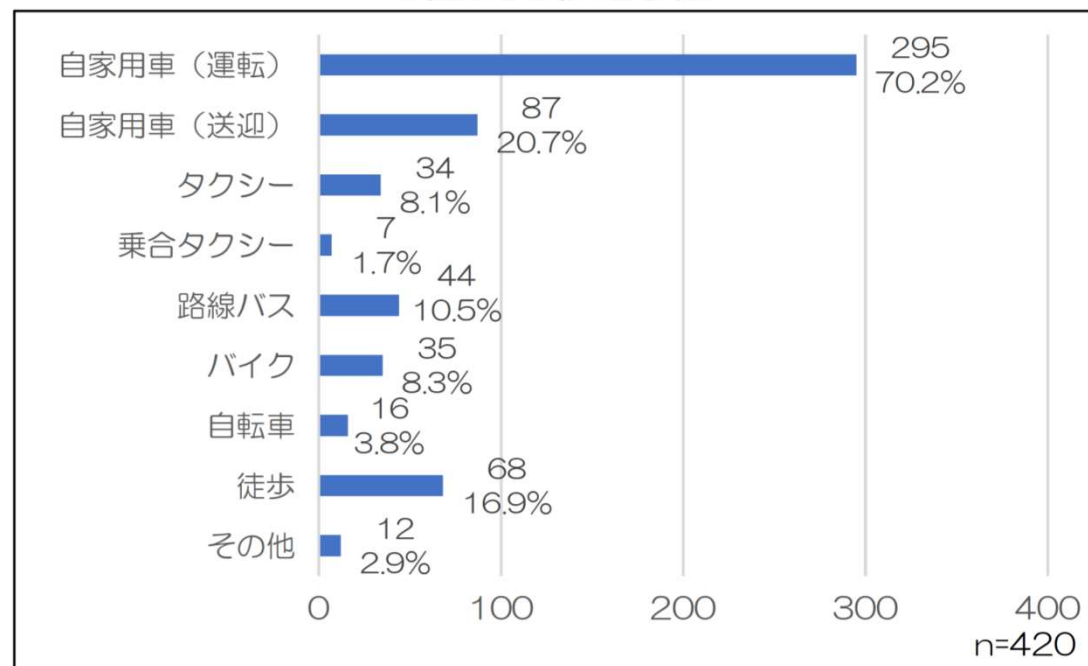
事業検討の際に実施したアンケート結果と比較すると、地域公共交通を日常の移動手段とされている人が多く、公共ライドシェアがなくなると移動に問題が生じることが懸念される。

公共ライドシェア以外の移動手段



※「その他」と回答した人は「ない」と記載。

外出時の移動手段



玉川校区・新勝立町4丁目 移動手段の検討のためのアンケート調査結果より一部抜粋

2. 実証実験後の取組について

- 実証実験の終了による利用者の生活への影響を鑑み、令和8年2月以降については、市及び県の補助金を活用し、実証実験として現在も運行を継続している。
- 実証実験では、利用状況が前年度（玉川のりあいタクシー）より増加傾向にあり、利用者の満足度も高いことがわかった。
また、本事業を企画・運営されている「玉川校区移動手段検討プロジェクト」では事業継続の意欲が高く、本運行に向けて負担金の拠出やスポンサー獲得など財源確保の検討を進められ、ドライバーの確保にも取り組まれている。
- 上記のような状況を踏まえ、令和8年9月から玉川校区の公共ライドシェアを本運行へと移行し、本市の生活交通支援事業の取組のひとつと位置づけ、国や県の補助を活用しながら、継続的な運行を支援していくこととする。

